

[共通特長]

屋根パネルには採光性のある3種類のパネルを用意しています

屋根パネル

Roof Panel

屋根パネルと側面パネルには、より安全性を高めたポリカーボネート板やFRP板・熱線遮断FRP板を用意しています。

屋根パネルの性能は、パネルが太陽光を遮っている部分にのみ効果を発揮します。

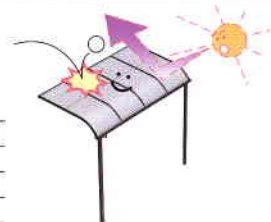
●屋根パネル 性能比較

場所	熱線遮断FRP板	一般FRP板	一般ポリカーボネート板
熱線(赤外線)カット率	約 55%	約 39%	約 12%
可視光線透過率	約 29%	約 62%	約 20%
紫外線カット率	約100%	約100%	約100%

●太陽光下での測定結果

場所	直射日光下	一般FRP板	熱線遮断FRP板
車内	61.6℃	50.3℃	45.6℃
ハンドル表面	84.9℃	59.8℃	51.2℃
ダッシュボード表面	91.2℃	65.9℃	54.2℃

測定日:平成16年7月28日 晴れ 気温34~36℃での実測値です。施工現場の状況により上記とは異なります。



1 耐衝撃強度を高めた

【ポリカーボネート板】



ポリカ

※写真はブルーモーク

耐衝撃強度アップ 紫外線カット

2 耐衝撃強度+拡散光でスペースを明るくする

【FRP板】



FRP

耐衝撃強度アップ 紫外線カット 直射日光を拡散

プライバシー

3 強い太陽光を快適な光にかえる

【熱線遮断ポリカーボネート板】



熱遮ポリカ

耐衝撃強度アップ 紫外線カット 熱量を半減

下から見た場合 上から見た場合

上から見た場合、表面が太陽光に反射して、下から見た場合は色調が異なって見える場合があります。

4 太陽光の熱量を半減して屋根下の温度の上昇を抑える

【熱線遮断FRP板】



熱遮FRP

耐衝撃強度アップ 紫外線カット 直射日光を拡散

プライバシー

熱量を半減

耐衝撃強度アップ

ガラスに比べ約250倍の耐衝撃強度があります。

紫外線カット

太陽光に近い自然の光は取り入れて、人体に有害な紫外線をほぼ100%カットします。

直射日光を拡散

裏面のエンボス(凹凸)模様が直射日光を拡散して柔らかい日差しにします。

プライバシー

側面パネルの場合、裏面のエンボス模様が周囲からの視線をカットし、プライバシーを確保します。また、気になるパネルの汚れも目立ちません。

熱量を半減

熱線遮断FRP板は暑さの原因となる赤外線の熱量を半減し、真夏の温度の上昇を抑えます。

地域の積雪量を考慮してテラスをお選びください

雪の比重について

Snowfall

積雪地域においてテラスを設置される場合、積雪量に対応した強度が選択の重要なポイントになります。必要な強度を持たせたテラスを揃えていますので、それぞれの地域の積雪量を充分考慮してテラスをお選びください。また、多雪地域においては、必ず専用タイプをお選びください。



●雪おろしの目安

20cm [600 type] 積雪荷重:61.2kgf/m²

商品名	積雪
メニーウェル	約20cm
ナチュレ	約20cm
グッドエバー柱付き式	約20cm
グッドエバー柱なし式	約20cm
テラーネZ	約20cm

50cm [1500 type] 積雪荷重:153.1kgf/m²

商品名	積雪
ナチュレ	約50cm
グッドエバー柱付き式	約50cm
テラーネZ	約50cm

100cm [3000 type] 積雪荷重:306.1kgf/m²

商品名	積雪
グッドエバー柱付き式	約100cm
テラーネZ	約100cm

積雪地域では、専用タイプをご使用ください。
 [適応テラス]: ナチュレ・グッドエバー柱付き式・テラーネZ
 降雪時には雪おろしが必要ですので、右表をご参照のうえ雪おろしを行なってください。

注 雪おろしの目安は積雪量1cm当り3kgf/m²(比重0.3)の単位量にて算出しています。地域・気象条件により単位量が異なりますのでご注意ください。